

思いやり

2019年5月14日

第4号

文責：宮・緒方

※個人情報保護のため目的外使用を禁止します

～「楽しんだ」体育大会～

5月11日（土）に行われた体育大会では、「楽しむ」ということを学級の中でも全体の中でもみんなで確認し合いました。「楽しむ」とは周りの人にちょっかいを出して楽しんだり、負けている人を馬鹿にして楽しい気分になったり、マナーや規律を守らずに好き勝手行動して楽しむのではなく、今まで練習で頑張ってきたことを一生懸命発揮すること、勝つために互いに声を出して応援し合い、協力してやり遂げること、がむしゃらになって競技や演技を楽しむということです。本番の日のみんなの姿を見ていたら、一生懸命になって楽しんでいたなと思い出されます。

「勝つ」ということは、個人的に頑張るよりも、1つの組が勝つために皆で協力しなければなりません。応援の中でも競技の中でも、どのように他に協力すべきか、どのように声をかけたら周りが協力してくれるか、ということ考えた人は少なくないと思います。その考えた時間や悩んだ時間を大切にしてほしいと思います。来年は3年生として体育大会を創り上げていきます。去年や今年に味わったことのない辛さや喜びがあると思います。精華中学校の生徒の1人であるということを考え、一人一人が、また、学級で、そして全体の中でどのような協力ができるのか考えて行動する体育大会に、そして3年生として1、2年生のお手本となる動きができる体育大会になることを期待しています。



女子・男子100m走



全員で綱引き



男子200m



困難を乗り越えて



チーム対抗リレー



女子200m



係の仕事も頑張りました



タイヤ奪い



騎馬戦



応援合戦



応援合戦



ムカデ競走



ムカデ競走



ムカデ競走前



赤と青、ともに頑張りました

2年生の学年種目では、なかなかうまくムカデと走れず、前日までは少し進むのもやっとでした。しかし前日の最後の練習の中では、スピードがでなくても誰もこけずにムカデとなることができました。本番では「今までで一番速くいった」ということも言っていました。「本番にうまくいったよかった」と思う反面、それまでの練習の中でもう少し真剣に練習に取り組めなかったのかなとも思いました。実際、チームの中には「どうやったら皆真面目になってやってくれるんだろう」「練習せんでいいのかな」と思っている人が、それぞれのチームの中にいました。限られた時間の中でどんなふうに練習に取り組むのかを考え、全員の気持ちを大切に練習をみんなが進められたらと思います。2段目右の写真は競技前の円陣です。前日に円陣を組もうと決めたときにやってみると、青の男子と女子、赤の男子と女子、というふうに分かれ、4つの円陣ができていました。プラスの声掛けがあって4つに分かれたのではなく、マイナスの声掛けがあったから4つに分かれたという印象でした。しかしリーダーの山根さんと川上さんは、その円陣の組み方に疑問があったようで、直前にみんなに「青と赤関係なくみんなで組むのはどうか」と声をかけていました。そうやって悩んだことが良い結果につながると思います。みんなが一丸となってがんばっている姿が素敵でした。